

すまいるたうん



発行元
東京新聞
南千住東口専売所
5850-3699
発行責任者
鬼塚 佳代子
090-2657-0300

地域の見守り処

粹・活(いきいき)サロン

「南千住に粹・活(いきいき)サロンが8ヶ所できました」

汐入ふれあいいきいきサロンができてから10年。荒川区社会福祉協議会が中心となって区内52ヶ所でサロンが開催されており、各町会に1ヶ所のサロンを目標して増えています。

南千住地域では区内において高齢者人口が最多となっており、またひとり暮らし高齢者が多く、介護認定も受けている方も多くなっています。

「5年ぶりに人と話した」

5月に開設された石浜サロンに参加された80代の女性は、地方から家族に呼び寄せられて荒川区にきました。日中はおひとりです。新しい土地での人間関係を作ることが難しく、社会から孤立していました。サロンに出かけたことで人間関係ができ、喜んでおられるそうです。

「地域とつながりを持つ」

独居の高齢者が多く、またマンションも多いため、孤立しがちな方が多くいます。介護サービスを受けている方は、見守られています。しかし、制度から漏れた方達は、病気や経済的な

問題が生じた場合、どこに相談したらいいのか、なかなか支援の手が届きません。

こんな事例があります。独居の80代の女性が、定期的に参加していたサロンへの参加が途絶え、エレベーターの階数も間違えるなどの状態になり、近所の方が心配してサロンへ相談しました。その後、包括支援センターの職員が訪問し、生活

ができていないが通帳管理ができず、記憶力の問題があると判断しました。家族へ連絡して専門医受診、成年後見制度や金銭管理サービス、介護サービスの利用へと深刻化する前に繋がりました。

「相談できる場です」

それぞれのサロンには特色があります。若い世代の多い汐入地区では、子育て中の方達のおしゃべりの場としてのサロン、汐たまがあります。集会室にマットを敷き詰めて子どもを遊ばせながら、ゆつくり子育ての悩みや相談を話したり、情報交換をしています。

駅前サロンは、クッキングや作業をしています。いちご大福やパン、お蕎麦作りをしたり、かぎ針編みでアクリルたわしや籠を作ったりしました。

おしゃべり会は、ばんざい体操した後に皆さんとおしゃべりをしています。

「歌っている夢を見た」

すまいるたうんふれあい亭は、毎週開催され、歌を20曲くらいを歌って体操と

簡単なプリントで脳の活性化を図っています。

また、月1回の近隣のお出掛けで、より親交を図っています。

年齢を重ねるとなかなか知人作りも難しいですね。

サロンに参加する「地域との繋がりを持てる」地域で見守る目が育まれる。

地域の中に入って気軽に挨拶できる人づくりをしてみませんか。

汐入ふれあいいきいきサロン(汐入町会会館) 第2水曜13~15時

おしゃべり会(汐入町会会館) 第4月曜14~16時

駅前サロン(南千住駅前ふれあい館) 第1・4火曜10~11時30分

すみれ会(都営南千住四丁目アパート集会室) 第2木曜14~15時

石浜サロン(石浜ふれあい館) 第2・第4金曜13時半~15時

スカ八倶楽部(南千住スカイハイツ集会室)

第3火曜10時半~11時半

汐たま(子育て支援)(けやき通り北七番館集会室)

第1火曜・第3金曜14~16時

すまいるたうんふれあい亭(西部ひろば館、老人福祉センター)

第4土曜・第1~3日曜12時半~15時

お問合せ 荒川区社会福祉協議会 (3802) 3338